

## 第1号議案 令和2年度事業報告の件

### ■ 概要

令和2年4月、新型コロナウイルスに対する第1回目の緊急事態宣言が福岡県を含む7都府県に発出される状況で令和2年度が始まった。新型コロナウイルス感染防止のため、デイサービスとショートステイの受入れを一部制限したり、定期的なPCR検査を実施したりしながらの運営が続いた。法人による徹底した感染防止により、感染拡大を未然に防ぐことができた。

また、深刻化していた介護職員の不足は、外国人技能実習生や留学生の受入れ、紹介派遣会社からの派遣や紹介で雇用することができ、人手不足を緩和することができた。そういった中、継続した安定運営を実施するために、主に下記の重点項目を実施した。

### ■ 重点項目

#### 1. 適正な法人及び施設運営

- (1) 前期の決算を踏まえ、今期は回復のため入所稼働率の目標数値95%を設定したなか、上半期はコロナ対策でショートステイ利用を制限しながらの運営により、目標を達成することができなかった。しかしながら、下半期は完全回復に注力し、なんとか平常稼働をあげることができた。
- (2) 在宅系は、感染対策上利用者を制限しながらの運営であったため、1年を通じて、目標値を達成することはできなかった。

#### 2. 新型コロナウイルスのクラスター感染対策

- (1) 職員及び職員家族、施設立入者の体調管理を徹底し、施設内へのウィルスの持ち込みを防いだ。
- (2) 入所者及び利用者の体調確認と必要に応じたPCR検査等を実施し、緊急事態宣言下では、受入れ制限等を行い、クラスター感染を防止した。

#### 3. 人材の適正確保と定着

- (1) 職員の配置状況及び人事に関する情報を共有し、採用計画に基づき、必要な人材確保を実施した。
- (2) オンライン研修や誠和会キャリアパス制度を活用し、職員の離職防止と定着を図った。

#### 4. 業務の効率化と負担軽減

- (1) スライディングボードや移乗機械を導入することによって、腰痛防止と安全な移乗を目指し、ノーリフティングを推進した。
- (2) 朝食の内容や介護記録方法、ユニット構成、その他の業務内容の見直しを実施し、業務の負担軽減を図った。

#### 5. 企業主導型保育園の安定運営

- (1) 定員30名に対し14名の園児で開園。以降順調に増え12月には定員の30名となり順調に立ち上がる事ができた。

